

アイテム

祝!創刊1周年
2008
秋
Vol.05

(財)伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

実りの秋だ 伊丹の土から コンニチワ

[伊丹遺産]
欧米で最も愛育されるバラ

[舞台の裏側]
美術館支える修復士の技

[終演後の一軒]
南国の空気感じる食堂



[まちなか美術手帖]
巨匠・陶芸家、最後の大作

[財団四季の芸は身を助く]
お茶の老舗から秘伝の入れ方を教わる

「街に音楽を」とはじまった伊丹オトラクで芽生えた、まちの人とミュージシャンとの例えばこんない関係
オトラクな関係 5 サロン デ サンスイ×セッションに集うお客さん



ジャンルの壁を越える音楽寺子屋

Salon de Sansui

[サロン デ サンスイ]
38年前からギャラリー・ライブも
できる多目的サロンとして運営す
る伊丹の文化発信地の「コンニチワ」
カフェを主としたのは3年前か
ら。若手に限らずベテランも実
験の場として提供する。
西台1-5-7 ☎072-775-2649
11:00~22:00 木曜休

[セッションに集うお客さん]
皆さん、何かしらサロン デ サン
スイにはお馴染みのよう。コン
ガを習っているおじさんから、民
族楽器の製作者、ギタリスト、和
太鼓奏者までさまざまでした。

阪急伊丹駅を西へ歩いてすぐ。「サロン デ サンスイ」はマンションの1階にある。ライブに限らず音楽教室から歌声喫茶風の催しまであり、実に幅広い。店長の篠崎裕康さんが72歳の現役パーカッション奏者、音楽療法に取り組むNPO代表という多彩な活動があってこそものかもしれない。

取材した日は「コンテンポラリー・セッション・デー」。「プロとアマが交流し、やりたいことをためす」と篠崎さんが言うように、午後3時から10時まで1日をとおして音楽で遊ぼうというものだ。「なにをするわけではないんやけど」と笑いながら楽器を弾く常連さ

んがいるかと思えば、ミュージシャン同士のセッションでは、次第に全員が参加し高揚感と一体感がお店を包む。「ここに来れば、どんなジャンルであれ、一つの音楽なんだときづかされる」という和太鼓奏者の安田典幸さん。ロックや民族音楽といったそれぞれの分野で活躍するミュージシャンだからこそ、ジャンルの壁を越えることで得られるものははかり知れない。まさに音楽寺子屋といったところだろうか。

誰もがわけへだてなく交流し、ゆるやかにつながっている「サロン デ サンスイ」は、伊丹オトラクが目指す「普段使いの音楽」を体現するお店なのである。



中筋健児●事業企画課事業担当 ヒゲ、メガネ、坊主と三拍子そろった本誌編集長。「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」など多彩な企画でホールから飛び出す。「中之島の街フリベ『月刊島民』が気になる最近です」

目指すのはこんなアイテム

市内の文化施設7施設を運営管理する(財)伊丹市文化振興財団。スタッフ自ら取材・文・写真・編集を行い「まちとアートをつなぐ伊丹のアイテム」として発行しています。展覧会やコンサートを観に、せっかく訪れた伊丹のまちなかも遊び心で楽しんでいただけたら、と思います。

見かけたら自慢してよし 伊丹産プレミアム食材



キタムラブドウ

明治から昭和初期には関西一のブドウ産地として全国に名を知らしめた北村地区。大粒で香り高く独特の風味が特徴だが、現在はたった一本しか木が残っていない。

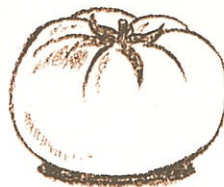


兵庫えんどう

絹さやのようにさやと実と一緒に食べられ、えんどう豆くらいの実の大きさが特徴。御願塚や千僧で作られている。食味はスナックえんどうに近い。

オランダトマト

通常の倍近い大きさで皮が薄くもっちりとした食感が特徴。戦前は兵庫県のトマト生産を支えるほどだった。原種は今も御願塚で栽培。懐かしい味を求め全国から買いに来るファンも多い。



食べれないけど
プレミアム

イケチョウガイ



淡水の真珠貝として知られ、水質浄化作用があることから、道頓堀川でも活躍。伊丹でも河川やため池の浄化を夢見て研究家が自宅で試行錯誤を重ねている。伊丹産真珠の誕生するか。



11/22
NEW
OPEN

地元の味が手に入る 新・伊丹の台所「スマイル阪神」

食の安全、地産地消に関心が高まる中、伊丹の公設卸売市場に地場野菜の大型直売所がオープンする。ネギやほうれんそう、小松菜といった新鮮野菜から、いちじくジャム、自然薯、花卉類まで揃う。他にもJA兵庫六甲エリアの地元野菜が手に入るのはうれしい。11/22のオープニングイベントではメイドイン伊丹のオリジナルメニューが味わえるかも。



阪神農業情報発信センター「スマイル阪神」
北本町3-50(公設卸売市場内)
オープンまでのお問い合わせ ☎072-772-3302

実りの秋にふさわしいこんなイベントも

10/18(土) 11/24(祝) 絵に遺した日本の原風景

山のふもとに田畑がひろがる。戦後から、日本の原風景ともいえる茅葺屋根のある風景を描き続けた向井潤吉。世田谷美術館が所蔵する代表的作品群によって総合的に回顧する。伊丹にもあったであろう懐かしい風景に想いを馳せる秋の展覧会。



美術館

世田谷美術館所蔵作品による「向井潤吉展 風土をみつめる旅」
10/18(土)~11/24(月・祝)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大高生350円、中小生100円。☎072-772-7447

10/18(土) 実りの秋は芸術の秋でした。

軽やかな三線が彩る「宜野座の祭り」。沖縄本島・宜野座村から総勢60数名が来阪し豊年祭「十五夜アシビ」から「獅子舞」、県指定民俗文化財の舞「京太郎(チョンダラー)」など選りすぐりの5演目を歌い踊る。実りの秋と芸術のいい関係を堪能しよう。



アイフォニック地球音楽シリーズ136「島風に歌う 宜野座の祭り」10/18(土)16:00。出演：松田区伝統芸能保存会、宜野座区二才団(ニーセエダン)、漢那区村芝居実行委員会。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。☎072-780-2110

朝採りの甘みを瓶詰めに



農業祭や宮前まつりで販売
いちじくジャム
(200g450円)

お問い合わせ
☎072-772-3302(JA兵庫六甲)

伊丹東部のいちじくは、砂地ならではの水はけと猪名川水系の恵みで、抜群の瑞々しさと甘さを誇る。ギリギリまで完熟させた朝採りは、買ったその日に食べるのが鉄則だが、「朝3時の美味しさを長く味わってもらいたい」と伊丹農産物加工グループあゆみが「いちじくジャム」を完成させた。残暑も厳しい8月下旬から収穫したいちじくを、3時間以上煮詰めるのは大仕事だ。添加物、保存料は一切なし。砂糖とレモンだけで、甘さをギュッと詰め込んだ味のファンは多く、毎年約1000個が売り切れる。見かけたら即、購入…は間違いのない判断だ。



味の研究に3年
かかった自信作



伊丹農産物加工グループあゆみ
加工部会長の小西和子さん

実りの秋だ 伊丹の土からコンニチワ

山がない伊丹にも実りの秋はやってくる。意外に知らない伊丹の農産物をここにご紹介。

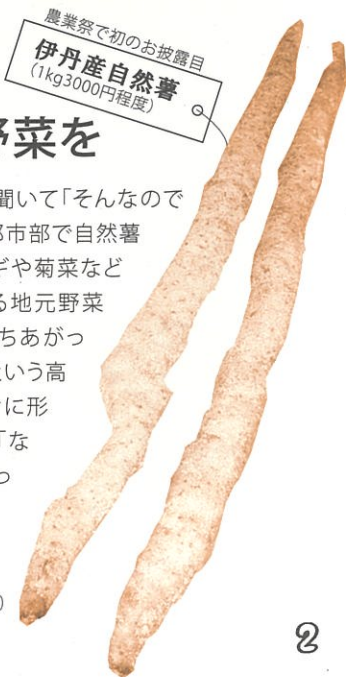


贅沢やけど
お好み焼きに
ええよ

伊丹自然薯部会長の
永田芳郎さん

ギフトにしたい地場野菜を

山のない伊丹で山芋が作られている…と聞いて「そんなのできるの?」と思ったアナタは鋭い。全国でも都市部で自然薯を作っているのは伊丹だけ。転作奨励でネギや菊菜などを作る農家が多い中、「贈答品として誇れる地元野菜を」と栽培に挑戦しようと11人の農家が立ちあがった。「趣味ではなくあくまでも農業として…」という高い志に支えられ苦節約6年。今ではまっすぐに形を整えるようになった。今年のお歳暮には「ながーいお付き合いを」という意味をこめて贈ってみたいかが。



農業祭で初のお披露目
伊丹産自然薯
(1kg3000円程度)

お問い合わせ
☎072-772-3302(JA兵庫六甲)



まちなか 美術手帖

学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにたたくずむアート作品を紹介。普段何げなく見ているものが実はすごい作品だったんです。

伊丹市立病院

巨匠・陶芸家、最後の大作

伊丹市立病院の受付カウンターが並ぶ吹き抜けロビーに巨大な陶壁がある。一度は無形文化財有資格者に認定された現代陶芸の偉才であり、陶壁というジャンルを確立させた加藤唐九郎の作品だ。

高さ7.5メートル、幅6メートルの陶板は窯焼きのため200枚以上に切り、壁にはめ込まれたもの。厚さは10センチ近くあり、中心には太陽、天に3羽の白鳥が飛び、地から松が伸びる大胆な図が立体的に盛り上がる。焼きしめられた土のどっしりとした重量感と、青色や緑色の釉薬による表面の輝きが美しい。

左下の1枚の陶板には最晩年の銘「玄」の文字が掘り込まれている。昭和58年、病院移転の際に当時の院長直々の依頼



加藤唐九郎
(1897-1985・愛知県出身)

陶芸家・陶磁研究者。「永仁の壺事件」で有名。奔放にて大胆な人柄で「破格の人」と言われる。漫画「美味しんぼ」の唐山陶人のモデル。陶壁は愛知県や広島県など数ヶ所に遺されている。写真は力強く彫られた「玄」の銘。

待合席に座り時が経過すれば、照らす太陽光の変化により作品の色や見え方が変わることに気付く。ロビーを忙しく行き交う人々を見守り、静かに穏やかであるが、力強い安心感を与えてくれる。

財団四季の芸は身を助く



伊丹市文化振興財団・加藤四季。ミュージカル俳優を夢見る歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するツツゲキ系連載。今回のテーマは

vol.5
みどり園

伊丹に店をかまえて100年を超えるお茶屋の老舗。センスのよい店内で茶葉や茶道具が各種揃う専門店。

お茶の老舗から秘伝の入れ方を教わりたい



いつものお茶がひと手間できっと美味しくなる煎茶の講習会があると聞き、お茶の味にイマイチ自信のない私は「まさに渡りに船!」とお邪魔してきました。

産地ごとに違うお茶の説明を受け、葉を食べてみることに。苦味を予想して口に運ぶと、意外にも甘みが広がる深い味は嬉しい驚きです。

実演ではまず「普段の様にに入れてみてね」と言われど緊張。恥ずかしいお味に小さくなる私。

葉の量も勿論ですが、高温のお湯を注ぐと一気に葉が開き苦味成分が出てしまうんだとか。お湯を直接注がずに湯呑み等に移し変え、湯気がふわっと漂う位ま

で温度を下げる手間が必要で

す。湯のみへの入れ方にもひと工夫が。1/3注いだら急須を水平に渦を描く様に回し、葉を絞ります。そうすると色も香りも鮮やかになります。色味を見つつ最後は急須を傾け葉を注ぎ口から逃がし、ポタポタッと注ぎ切ります。旨味が凝縮した数滴を逃してはいけません。たったこれだけで、同じ茶葉で入れたとは思えない程贅沢なお味に大変身。合格も頂きました!

相手を思いながら、お茶を慈しみつつ入れる気づかいと優しさが味にまろみを生み出すのするなど。全ては相手に対する愛情発信ですね。



(写真上) 急須を外から内へなめらかに3回転。これだけでお茶がぐっと色鮮やかに。(写真下) 三種の神器!? 急須、湯のみ、湯ざし。

お煎茶の講習会は阪急伊丹タミータウン店で毎月2回程度。日程は要問合せ。10:00~11:30、1,050円(お茶菓子付き)。西台にある本店ではお抹茶の講習会も。1回だけの講習から全6回もあり。第1・2金曜。18:00~20:00(時間内いつでも入室可)。1回につき1,575円。☎072-772-3562



取材と文

岡本梓 ●伊丹市立美術館所属 「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。専門は近現代美術。「秋は注目の展覧会が目白押し…旅に出ます!」



取材と文

加藤四季 ●いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「仕事が休みの日は愛しの雪組に会いに、宝塚大劇場へ出勤(笑)」



第5回 伊丹生まれの名花「天津乙女」

イタミ・ローズ・ガーデン

欧米で最も愛育されるバラ



イタミ・ローズ・ガーデン 1955年頃、日本ばら会関西支部の試作場として「伊丹バラ園」の名でスタート。「天津乙女」生みの親、寺西菊雄氏が園主。100種以上のバラ苗を販売する。

花径13cm、黄色の大輪種。宝塚スターの名にちなんで付けられた。写真提供：(財)伊丹市公園緑化協会

古来より西欧で「美の化身」とされるバラ。伊丹生まれの「天津乙女」は欧米で最も愛育されている一つだ。花の量や色、木の育ち具合などを観察する3年程度の試作期間を経て新種が世に出る。花付きが良く強健でかつコンパクトな天津乙女は、1960年に伊丹バラ園の寺西菊雄氏が作出、ドイツのバラ会社で売出し広まった。今では欧米各国の公園で見られるほか、イギリスの著名なバラ会会報で紹介されるなど国内外で高い評価を受けている。

天津乙女を見るには 荒牧バラ公園の「ふるさとのバラコーナー」で。春は5月、秋は10月のいずれも中旬頃に他のバラに先駆けて咲く。お問い合わせは伊丹市立みどりのプラザ ☎072-772-7696



取材と文

内山真理子 ●伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサートなどを担当。ローカル〜グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。「目下、筋トレに励んでいます」



11/15(土) 大地の鼓動、眩しいタンザニア!

伊丹アイフォニックホール

標高6千メートル近いキリマンジャロがそびえるタンザニア。大自然で生まれた音楽は、躍動感に溢れています。同国を代表するチビテ舞踊団が、楽器のリズムに合わせて全身で踊る様、ぜひ体感してみてください。

アイフォニック地球音楽シリーズ137『眩しいタンザニア ドラム&ダンス』11/15(土)14:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。☎072-780-2110

『眩しいタンザニア ドラム&ダンス』の終演後は、同じく陽気な空気を身近に感じさせてくれる店『てげてげ食堂』ぎゅらむんこへ。奄美諸島・請(うけ)島出身の津留さんが「奄美の人間が集う場所になれば」と思って去年の春に開いた。店に入るとすぐに目に付くシヨウケース型冷蔵庫には、市場で仕入れた魚介類が並び、タイルや古い建具・古材がしつらえられた壁。

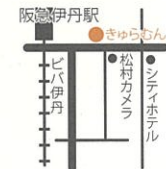
南国の空気を 感じる食堂

アイフォニック地球音楽シリーズは今も熱い。肩や頭に飾りを付け、太鼓や弦楽器の小刻みなリズムに乗って踊るチビテ舞踊団。祝いの席などで披露された音楽と踊りは、タンザニアの陽気な暮らしをのぞいた気分にならせてくれる。

アイフォニック地球音楽シリーズは今も熱い。肩や頭に飾りを付け、太鼓や弦楽器の小刻みなリズムに乗って踊るチビテ舞踊団。祝いの席などで披露された音楽と踊りは、タンザニアの陽気な暮らしをのぞいた気分にならせてくれる。



てげてげ食堂「ぎゅらむん」 中央1丁目9-11 ☎072-778-0188 不定休 17:00~23:30



店名は、かわいい、美人の意味。海の幸がたっぷりのぎゅらむん丼880円。そうめんちゃんぷる380円。豚なん骨680円ほか。焼酎も54種類と豊富。「てげてげ食堂」と書かれた看板が目印。



取材と文

宮村賢治 ●いたみホール所属。アートプロジェクトのオモシロさみせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「祭りやイベントが盛りだくさんの季節。通りの賑わいにまぎれながら食べるビールとタコ焼きが楽しみです」

after the show

伊丹には感動の余韻をまかせてくれるお酒と料理がちゃんとあります。

花を究める作法と秘訣

桜ヶ丘の閑静な住宅街にある口コフラワーデザインスクールを訪ねてきました。迎えてくれたのは、いつもピシッと姿勢良く、凛とした印象のフラワーデザイナー 笹木絃子さん。講師をする一方、結婚式やパーティーの装花、店舗のディスプレイなど幅広く手がけています。

作品は生花に限らず、その風合いを保存加工したブリザーブドフラワーやシルクフラワー、着物の生地をリユースした壁飾りなど、多種多様な素材を使ったアレンジメントです。「始めてから30年以上経った今でも、花のデザインは日々勉強」と言うように、ギフト作品にはとても神経を使うそうです。広い仕事場の床一面に花材を並べ、届けられた方の気持ちを思い浮かべながら、一つ一つ仕上げていきます。

フラワーアレンジメントは花の

クラフト作家の 仕事場をたずねて

フラワーデザイナー 笹木絃子さん



(上) 素材となる花や小物。果てのない組み合わせから、ふさわしい一つを選ぶ感性に圧巻。(下) 窓際に並ぶ自作。フラワーアレンジメントの多様さに驚く。

伊丹工芸クラブ会員展

工芸センターでは 12/12(金)～21日(日)まで開催。プロから愛好者までの作品を展示販売。ジャンルも様々なクラフトワークショップも! ☎072-772-5557



笹木絃子(ささき ひろこ)
伊丹生まれ。伊丹工芸クラブ会員展(※左記参照)に出品する他、12月に「クリスマスのフラワーアレンジ1日教室」を開催予定。作品は伊丹郷町クラフトショップにて展示販売中。

最も綺麗な瞬間を生け、咲いていく表情の変化も楽しみ、空間の美しさを引き出す作業。「季節や場の雰囲気などに対してあらゆる感覚を敏感にする意識・姿勢が大切。花を生ける技術だけでなく、全てに美意識を持つことを女性達に伝えていきたい」と熱く語ってくれました。

年齢を感じさせないスタイル抜群の笹木さん。以前からずっと知っていた秘訣とは「自分自身を常に厳しく見つめること、そして何事も楽しく続けること」だとか。私も毎日の暮らしの中で、自分磨きをしなければ…と背筋を伸ばして聞き入ってしまった。

舞台の裏側

BUTAI NO URAGAWA

華やかな舞台を支える巨大装置やハイテク・職人技…普段は見ることができない裏側をお見せします。



美術館を支える修復士の技

【伊丹市立美術館】

6千点以上のコレクションを誇り、特に19世紀のフランスで活躍した画家、オノレ・ドミエの収蔵数は日本屈指という伊丹市立美術館。奥深くにある収蔵庫にぎっしりと詰まった作品の維持と管理を担うのは、国内で活躍する数少ない紙の修復士、平田祐子さんだ。

18世紀後半から現代の紙は、木の繊維であるパルプが混入しており、放っておくと酸化し、色あせ、朽ちていくため、いかに食い止め続けるかが重要な仕事となる。温度・湿度を一定に保つようにし、中性紙で丁寧に包み、大切に保管する。

展示が近づくと、竹で出来たヘラで作品を移動し、直接テープでとめないよう三角コーナーで固定し、慎重に額装へ臨む。最も神経をつかう瞬間だ。

修復は勘に頼る作業もあり、頭を柔軟にし、作品から学びとる姿勢が必要という。美術館の裏側には、当時の空気感までも今に伝える修復士と作品のシブな対話があるのだ。

取材と文

権田康行 ● 事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニックマン。「地元六甲山のリュックサックマーケットに注目しています」

取材と文

澤野宏美 ● 伊丹市立工芸センター所属 伊丹郷町クラフトショップを拠点に全国各地の作家とつながる。現在は伊丹国際クラフト展と手織や陶芸などの講座を担当。「山好きが高じて遂に先日、自分専用のトレッキングシューズを購入！」

12/11(木) 聖夜に満ちる天使の歌声

類まれなる歌唱力で人気急上昇中のソプラノ・森麻季と世界最古の歴史を誇る少年合唱団「ドレスデン聖十字架合唱団」による夢の共演。宗教音楽の名曲を中心に天使の歌声が響き渡る。一足早いクリスマス気分を味わいませんか?



©Yuji Hori

『ドレスデン聖十字架合唱団&森麻季 クリスマス・コンサート』12/11(木)19:00、5,500円。☎072-778-8788

12/21(日) クラシック音楽に親しもう

関西で活躍する演奏家を招いてお届けするクラシックコンサート。今回はピアノとクラリネットが楽しめる。足立勝によるクラシックのやさしいお話や楽器の紹介も好評です。楽しいクリスマスの一時を。



アーベントコンサート『Merry X'mas to you~ピアノとクラリネットで贈る名曲の調べ~』12/21(日)14:30。一般1,600円(当日2,000円)、高校生以下・60歳以上1,200円(当日1,500円)。ドリンクサービス付(ジュース・お茶)。☎072-781-8877

11/29(土)-12/21(日) 生誕200年 ドーミエ一挙公開!

美術館が世界に誇るフランス人画家オノレ・ドーミエの版画コレクション。秋に展示した作品をさらに充実させた。生誕200年を記念して名作・秀作などお宝を一挙公開。シニカル&ユーモラスな風刺画家ドーミエの魅力を存分に堪能したい。



写真術を芸術の高みにまで引き上げるナダール

『生誕200年 オノレ・ドーミエ 人間喜劇<第2部>』11/29(土)~12/21(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般500円、大高生250円、中小生100円。☎072-772-7447

12/20(土)-12/23(祝) 子どもとおとなに贈る音楽劇

大統領は12歳だ。子どもの国の独立を要求して決起する子どもたち。しかし、子どもの国の子どもによる、子どもの平和は子どもによって作れる? アイホールと岩崎正裕による共同製作第3弾は、今を生きる、子どもとおとなに贈る音楽劇。



photo:石川隆三

AI・HALL+岩崎正裕共同製作『どくりつ こどもの国』12/20(土)~12/23(祝・火)。時間要綱。親子ペア3,000円(前売のみ)、一般2,500円、学生&ユース1,800円(当日500円増)、小学生以下1,000円。☎072-782-2000

10/10(金)-11(土) プルーストとダンスが出会う

空間と身体の関係性を重視した創作を続ける振付家・ダンサーのボヴェ太郎。文学座の渋谷はるかを迎え、プルーストの小説『失われた時を求めて』に想を得た新作を、音や光、言葉のイメージから影響を受けて生まれるダンスにご期待ください。

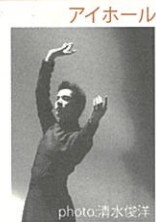


photo:清水俊洋

Taro BOVE Dance Work『Texture Regained 一記憶の肌理一』10/10(金)19:30、10/11(土)16:00。一般2,000円、学生&ユース1,500円(当日300円増)。☎072-782-2000

10/25(土) 主演、地球。46億歳…

話題の注目作品を上映する「ラスタ映画倶楽部」。今回は美しい地球の現状・生命の連鎖・温暖化などあらゆる角度からとらえた「地球のポートレート」とも言うべきドキュメンタリー映画。次世代になうこどもたちにもぜひ知ってほしい。



ラスタ映画倶楽部『アース』10/25(土)。<親子の回>10:00(要問合せ)。<一般の回>①14:00②18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。☎072-781-8877

10/1(水)-10/26(日) ゆらくかたち・ずれるかたち

柔らかい土を螺旋構造を用いて立ち上げてゆく星野暁(さとる)と、同じく柔らかい土が生み出すダイナミックな動きに触発されて面を与えてゆく星野佳世子の仕事を紹介。1点ずつ独立していながら群として展示される二人の作品にご注目下さい。



『ゆらくかたち・ずれるかたち 星野暁・星野佳世子 陶展』10/1(水)~10/26(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。無料。☎072-772-5557

10/18(土)-11/24(祝) 台柿の実る頃の「柿」展

柿衛文庫の名の由来の台柿が、今年も実ります。江戸期の儒学者・頼山陽が、酒宴の席で出された時、美味しさに感動し「柿記」を著すという逸話が残る台柿。展示では、台柿にまつわる作品と様々な時代の俳人が詠んだ柿の句を紹介します。



『小企画展 山陽の柿 子規の柿』10/18(土)~11/24(月・祝)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円、大高生100円、中小生50円。☎072-782-0244

10/31(金)-12/7(日) 伊丹国際クラフト展「酒器・酒壺台」

「清酒発祥の地、伊丹」にちなみ日本酒にこだわった「酒器・酒壺台」をテーマにした公募展の入賞入選作品528点を。魅力ある酒の場を提案する作品の数々をお見逃しなく! 期間中、審査員のレクチャー、陶芸WS、ミニコンサートもあり。



『2008伊丹国際クラフト展 主題:酒器・酒壺台』10/31(金)~12/7(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。無料。☎072-772-5557

11/28(金) 現代詩を歌うバンドDiva登場!

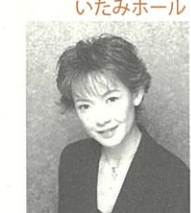
谷川俊太郎作品を中心に現代詩を歌うバンドとして、注目を集めるDivaが登場! '07年までの約5年間、活動を休止していた彼ら。関西でのライブは、再結成後初。ゲストに俳人、木割大雄を迎え、開放感あふれるロビーでことばを楽しむコンサートを。



アイフォニック・ロビーコンサートvol.2『Diva-ことば・あそぶ・うたう』11/28(金)19:30。一般3,000円(当日500円増)。1ドリンク付。☎072-780-2110

10/26(日) 名曲クラシックの宝箱

「クラシックはどうも…」というアナタに聴いてほしいのが本公演。どこかで一度は耳にしたことのある名曲ばかりを、大迫力のフルオーケストラで堪能できる。元宝塚歌劇団・宙組男役トップスターの姿月あさとが案内役なのも楽しみの一つだ。



『大阪シンフォニカー交響楽団 名曲ア・ラ・カルト』指揮:寺岡清高、ナビゲーター:姿月あさと、ピアノ:大道真理。10/26(日)15:00。一般3,000円、学生2,500円。☎072-778-8788

11/9(日) あの人形劇「三国志」が舞台上に登場

NHK人形劇「三国志」の人形作家、川本喜八郎が本作のために創作。脚本にはジェームス三木が、三顧の礼、甘露寺など重要シーンを余すところなく描き出す。操作は日中を代表する人形劇団が行う。壮大な世界観にふさわしい贅沢な内容は必見。



『日本・中国共同制作 大型人形劇「三国志」総集編』11/9(日)15:00。一般3,500円、学生・60歳以上3,000円。☎072-778-8788

アイテム

2008秋 Vol.05

2008年10月1日発行(季刊秋号・通巻58号) 発行:(財)伊丹市文化振興財団 編集:アイテム編集委員会 表紙イラスト:ニシワキタダシ

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3 伊丹市立文化会館「いたみホール」内 Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585 http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan Email itamihall@hcc1.bai.ne.jp



<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、東商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ピバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所

チケットプレゼント

- ①『生誕200年オノレ・ドーミエ人間喜劇<第2部>』11/29(土)~12/21(日)(美術館) 5組10名
②『ドレスデン聖十字架合唱団&森麻季 クリスマス・コンサート』12/11(木)19:00(いたみホール) 1組2名
③AI・HALL+岩崎正裕共同製作『どくりつ こどもの国』12/22(月)19:00(アイホール) 1組2名

ご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで、11月15日までに必着。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。